

SSKP

わたしたちは、信頼と希望と愛の輪で社会をつなぎます



いずみ

No.
196

2020年3月

社会福祉法人 泉会

泉会事務局 〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番23号 TEL03(5429)6721(代) FAX03(5429)6722
info@izumikai.jp http://izumikai.jp/

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可(毎月、二、三、五、六、七の日十八回発行)
二〇二〇年二月一日発行(SSKP通巻第七三五八号)

●本年度の聖句

主に望みをおき尋ね求める魂に主は幸いをお与えになる。
主の救いを黙して待てば、幸いを得る。若いときに軛(くみ)を負った人は、幸いを得る。

〔哀歌〕 3章25―27節



「おいしくな〜れ」毎年恒例お菓子づくり(日の出舎)

説得力に欠ける

理事長 佐分利 正彦



2020年を迎えました。新年にはいつも、今年こそは世界平和が実現するようにと願うのですが、今年はこの願いを無視したような、気がかりな軍事行為が始まることになりました。アメリカがイラクでイランの軍司令官を殺害したということです。

ある国が、対立している他国の指導的立場の人物を暗殺したことを、正当な行為と主張することに、強い違和感を感じました。アメリカはイランを「テロ国家」と断じて、様々な制裁を科してきました。今回のアメリカの行為は、テロではないのでしょうか？ 私には説得力に乏しいと感じられるのです。

この状況の中で、日本政府はアメリカに対し公式には何一つ批判らしい批判をしていません。日米同盟をより強固にする動きの方が報道されています。2020年は1960年から60年目に当たります。私は1960年に大学に入学し、入学と同時に「安保改定反対」の動きに巻き込まれました。しばしば友人たちとデモに参加した経験があります。日頃は記憶の奥底に隠れていた記憶が、先述した軍事行為とそれに対する日本政府の姿勢をきっかけとして、フツとよみがえってきました。

私は日米開戦の年に生まれ、戦争の記憶をわずかながら持っています。疎開も経験しました。父の弟はシベリアに抑留されました。そうした履歴を持つものとしては、現在30歳以下の若者や子供たちが戦争の苦しみ味わうことのないようにと常日頃思っているのです。一旦戦争になれば、最も弱い立場の人たち(女性、子供、そして障がい者)の生活が脅かされるでしょう。それ故に、アメリカとの関係強化に重心を置いて、その国の横暴には目を背けている我が国の姿勢は、説得力に欠けると思うのですが。

玉堤分場復旧報告 私たちが得たもの

岡本福祉作業ホーム玉堤分場は、10月に上陸した台風により浸水被害を受けました。同じ町内の玉堤町1丁目・2丁目をはじめとした近隣の地域にかけては、床上浸水した家屋や集合住宅、商店、学校等も多く、多大な被害を受けてしまいました。



台風が過ぎた翌朝には道路上の泥水は引いており、各家で廃棄物の運び出しや清掃作業を行っていました。玉堤分場は地下階にあります。氾濫した川の水は、建物内

な範囲の片付けを行いました。作業中、利用者の方が不在であった中での災害だった事が幸いだったと、何度も考えていました。



週明けからは復旧に向けて本格的に動き出しました。玉堤分場の利用者の方は、岡本福祉作業ホーム本園と、泉の家の一部を使用し活動を行うことにしました。応急で作られたスペースでの限られた活動でしたが、何とか毎日の通所場所の確保はできました。職員は本園・分場を行き来しながらの支援業務、復旧作業となりました。



玉堤分場の利用者の方は普段、主に自主生産品であるクッキー作りの作業を行っています。突然の作業内容変更や、慣れない環境の中の活動は、不安やストレスにつながることがあると思います。本園の利用者の方もいますので、施設内には車いすを利用している方や、様々な障がいを持った方が多くいます。職員も慎重に、普段とは違う対応や活動内容を考え行っていました。

復旧作業は、泉会職員だけでなくボランティアの方も応援に加

ましのお言葉やお手紙をいただいたりと、心が折れそうになる私たちを助けてくださいました。また、本園で活動することにより生まれ

た新たなコミュニティが、私たちを和ませてくれ、前向きな気持ちにしてくれました。「被災」は思い出すと悲しい出来事ですが、そればかりではなく、学びや発見、人への感謝の気持ちをあらためて感じる機会にもなったと思っています。



28年かけて作ってきたものを「元に戻す」ということはまだまだ時間が掛かると思います。しかし、玉堤分場の職員は、すべてを元に戻

わつて下さいました。数日かけて清掃・消毒や、廃棄物の運び出し・処分を行いました。エレベーターが使用できない中での地上への運搬作業は容易ではありませんでしたが、多くの方の協力により、思った以上に早く進めることができました。復旧作業中は、世田谷区担当課の方だけでなく、地域の議員の方や専門業者等の外部の方にも多くの相談をしてきました。また、同時に保健所や清掃事務所、ライフ



ラインや施設備品にかかわる業者の方とも連絡を取り進めていきま

した。現地確認にも都度足を運んでいたが、少しずつ前に進んできました。



ただ、清掃や廃棄作業は順調に進みましたが、作業を進めていくと様々な問題が発生し、相談をしながら解決、また問題が起こり、ということの繰り返しなので、最終的な復旧には時間を要しています。多くの方の協力を得て、この号が発行されている頃には、分場での活動を再開していると思います。

今回のことでは、様々な方からあったかいご支援をいただきました。心配して訪問してくださったり、励

2019年度 法人理念研修

11月16日に法人の全事業所の職員を対象とした法人理念研修を実施しました。当日は理事、評議員の方、職員を合わせて約66名の参加者となりました。研修のテーマは「障がい者の権利擁護について～人権を守ることで虐待防止につながる～」です。法人理念について理事長より講義を受けました。聖書の中の「タラントンのたとえ話」を交えて講義され、「我々

は人それぞれに神から異なる賜物を委託されておりそれを活用するように求められている」と語られ、



金井牧師の講話

2019年ラグビー日本チームの活躍にも触れ、それぞれの持ち場で目標の達成に向けて継続して取り組むという「ワンチーム」という言葉を改めて意識する機会となりました。

金井牧師の講義「福祉の危機」その存在理由を再考する」では、

1. 分断される社会 2. 福祉の危機 3. 福祉の存在理由 4. 福祉とはその社会の存在を支える必須の制度であるという4つの多岐に渡ったテーマでご説明頂きました。「人間は最終的にはお互い様である。硬く言えば、互いの尊厳を認め合うということ」と尊厳について再確認することができました。

グループワークでは8グループに分かれ、事前に「自己決定とは」の自由意見を参加メンバーが持ち寄り、各グループで発表したり、現在の利用者の自己決定の場面で難しい点や、自己決定に必要なことを共有し、全体発表を行いました。各グループで活発な意見が出ており、日ごろの支援で役立つポイントや同じ悩みを持つていたなど認識できました。グループワークが終わった後は職員皆、和んだ様子で笑顔が見られました。今回の研修でも当日参加の職員はもちろん、不参加の常勤職員、非常勤職員もレジュメを読み、レポートの提出を行いました。



自己決定の意見が活発に飛び交うグループワーク

レポートでは理事長の講話のポイントとして、「利用者もチームの一員」「ワンチームとしての泉会」と、「ワンチーム」が多く挙がっていました。金井牧師のお話については、どのテーマに対しても自分自身の考えを記したものが多く、特に津久井やまゆり園の事件には、多くの職員が触れていました。利用者の自己決定を考えると、グループワークでは、日常を見直し、お互いに意見交換する意味で、とても良い機会になったという感想が多かったです。実りの多い研修でした。

（研修分科会）

日の出エリア施設だより

グループホーム
のぞみだより

のぞみ恒例 初詣



みんなで今年一年の幸せを祈って

少し前の話にはなりますが、2020年1月3日にGHのぞみでは、青梅の御嶽神社に初詣に行つて来ました。全員で参拝し、お守りやおみくじを引いて「大吉だ！」などと盛り上がりしました。その後は屋台が出ていたので、焼きそば・ケバブ・チョコバナナ・お

就労日の出舎・安全対策について

好み焼きと、思い思いに好きな物を購入し、青空の下で美味しく頂いてきました。みんな元気に笑顔で参拝することができ、今年も素敵な一年になりました。と確信して帰ってくることができました。

『GHのぞみの全員が健康で笑顔あふれる一年になりますように。』

（市川 美和）

就労日の出舎では、日々の作業の中で、利用者がいかに安全に作業ができるのかを常に模索しています。

先日、ヒヤリハットで「使用していないときのボール盤の安全対策について」が上がりました。危険がないよう、ドリルとスイッチをカバーする治具を現場の職員と話し合い、扱いが簡単で確実に安全を保てるもの、というスタンスで製作しました。ボール盤は使用頻度が高いので、カバーは取り付け・取り外しの時間が短縮できるマグネット付きの設計



安全カバー装着時



危険なボール盤の刃

になっていきます。また、ボール盤のカバーに加え、作業室に設置してある焼印の器具についてもカバーを製作・設置し、安全な空間で作業ができるよう努めています。

職場会議や生産会議でも、職員が意見を出し合い、危険個所の確認やその対策を考え、利用者の方々が怪我をせず作業が行えるように努めています。

今後も職員一人一人の気付きを大事にし、安全対策の強化を図っていききたいと思います。（影山 和美）

日の出舎だより

日の出舎 安全対策を万全に

昨年は台風被害が甚大で、改めて自然の脅威を感じる年でした。玉堤分場では浸水被害で利用者、職員ともに体力的、精神的に大変な思いをされたことでしょうか。あの日、日の出舎でも、施設の玄関まで水が迫りました。あつという間の出来事で「ほとんど水が迫ってくる」ような「ちやうの」などの緊迫した声が施設内に飛び交い響いていました。このように大変な時こそ一人一人の協力体制が問われると思います。利用者の安全確保のためには日頃の避難訓練とともに今後、今以上の職員間での危機管理体制の構築がより一層必要であると考えさせられました。

（野崎 房代）



道路からの水が滝のように…

グループホーム こいのにあだより

利用者全員の誕生日を祝う
達成まであと1名に。

「今年度は、誕生日会を全員もれなく行いましょう！」という目標とお約束により、4月から開始し、12月を終了した時点で計7名の誕生日会を無事に楽しく行うことができました。その日のお食事は、主役である誕生者が決めることができ、4月はカレーライス、5月



みんなで囲む美味しい料理！



ケーキもみんなで準備します！

は酢豚、6月は焼きそば、9月は餃子、11月はハンバーグ、12月は唐揚げでした。

もちろん、豪華誕生日ケーキ、プレゼントとして、職員も含めた全員のメッセージカードもついてきます。ローソクを吹き消す瞬間の笑顔は、何とも言えない今までみたことのないくらい良い表情をみせ、みんなを幸せな気持ちにさせてくれます。

今年度、最後の誕生日会は3月に1名を予定しています。不思議とかぶることのなかったメイン料理は何になるのか今から楽しみです。（田村 義宣）

コイノニアかみきた だより

新年会

1月に生活介護、就労継続支援B型合同で新年会を行いました。今回は準備から当日の司会まで、利用者の皆さんと協力しながらの開催となりました。各事業で司会や開会、閉会の言葉等の希望者を募り、当日までに練習を行っていました。



元気いっぱいの司会でした！

また、今回は事業混合でのチーム対抗戦として、「輪つなぎ競争」と「似顔絵クイズ」を行いました。どうやったら早く輪つなぎをつなげられるか、クイズの答えは誰なの

か、皆さん真剣な表情で作戦会議を行っていました。結果発表では各チーム一喜一憂。勝ったチームに対して「おめでとう」と声をかける等、利用者の皆さんの温かさや伝わる場面もあり、とても印象的でした。



協力して輪つなぎ！

ゲームの後は利用者の皆さんの抱負発表を行いました。緊張しながらも、今年何を頑張りたいか、全員がしっかりと発表されていました。

行事を通して他事業の職員、利用者に対して、皆さん積極的にコミュニケーションを取られ、交流の場としてもとても良い機会となりました。（木村 賢幸）

泉の家だより

日頃の感謝を込めて

11月29日（金）、日頃お世話になっている地域の方へ感謝を伝える場として「ありがとうの日」を開催しています。来賓、ボランティア含め、81名の皆様が施設に集まって下さいました。

午前はクイズ大会を行い、泉の家に因んだ問題を総勢10チームに分かれて、点数を競い合いました。各グループ、議論や笑い声が聞こえてきたりと、とても白熱した大会となりました。



お寿司と天ぷらに思わず笑顔

午後は、利用者さん、職員からそれぞれ出し物を行っています。利用者さんからは「パプリカ」の合唱、その後職員3人による「手品」を披露しています。どちらの出し物も皆様からの拍手と笑いで、会場が温かく包まれました。たくさんの方と楽しい時間を過ごすことができました。皆様、お越し頂きありがとうございます。（池田 征怜仁）



全員で「パプリカ」を合唱

昼食は、過去のイベントでも好評を頂いていた職人さんを招いての「握り寿司」です。おかわり自由ということもあり、皆さん嬉しそうに召し上がっていました。

岡本福祉作業ホーム だより

外出活動 JAL見学

「空を自由に飛びたいな」こんなことを思った経験はないですか？ そんな私達の思いを叶えてくれる乗りもの「飛行機」を近くで見たいという希望から、11月に外出クラブの一環として羽田にあるJALメンテナンスセンターへ工場見学に行ってきました。

待ちに待った当日は、参加した利用者、職員も出発前から大興奮、早くも大きな笑い声がバスの車中に響き渡っていました。



気分はキャビンアテンダント！



こんな近くで飛行機を見ました！

そして、メインの整備工場内見学は、ガイド職員さんのお話を聞きながら飛行機を上フロアから見下ろしたり、実際に近くまで行ってみたりと、あまりの大きさにみんな圧倒されていました。その他にも、実際に部品を大きなクレーンで運ぶところや、飛行機が離発着する瞬間を見ることができたりと色々なことに驚かされてばかりの楽しい工場見学となりました。（陶山 智憲）

就労日の出舎 製品紹介

「iPhone 用のスマホスピーカー」

電源不要の iPhone ウッドスピーカーです。iPhone を置くだけで左右についているスピーカーから素敵な音が響きます。ヒノキとケヤキの2種類を用意しています。

- ① iPhone ウッドスピーカー（ヒノキ製） 2,750 円（税込み）
② iPhone ウッドスピーカー（ケヤキ製） 3,300 円（税込み）



2020 年 3 月～2020 年 6 月予定表

行 事	販 売 会
3月12日(木)成城音楽祭	3月上旬 経堂駅構内(泉の家)
3月27日(金)お花見(泉の家)	3月14日(土) 砧近所フォーラム(泉の家)
4月 1日(水) 入所式(泉の家)	4月15日(水) せたがや日赤のつどい(泉の家・岡本・コイノニア)
5月21日(木)～22日(金)一泊旅行(泉の家)	4月下旬 花みず木フェスティバル(泉の家)
5月21日(木)～22日(金)一泊旅行(岡本)	5月 親と子のつどい(岡本・コイノニア)
5月 未 BBQ(就労日の出舎)	5月 3日(日) 緑化まつり(泉の家)
6月 4日(木)～ 5日(金)一泊旅行(泉の家)	5月中旬 せたがや環境フェスタ(泉の家)
6月11日(木)～12日(金)一泊旅行(岡本)	5月 日の出イオンモールフェスティバル(就労日の出舎)
6月26日(金)日帰り旅行(コイノニア)	5月 烏山もったいないバザール(岡本)

* 社会福祉法人 泉会 *

法人本部 泉の家	〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番23号 ☎03(3417)3451(代) ☎03(3417)3463 izumi@izumikai.jp	コイノニア かみきた グループホーム こいのにあ	〒156-0057 世田谷区上北沢1丁目32番14号 ☎03(5316)2251 ☎03(5316)2252 koinonia@izumikai.jp
岡本福祉 作業ホーム	〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番24号 ☎03(3415)3366(代) ☎03(3415)4976 okamoto@izumikai.jp	日の出舎 就労日の出舎 相談日の出舎	〒190-0182 西多摩郡日の出町平井3030番 ☎042(597)1451(代) ☎042(597)2205 info@hinodesha.org
相談支援センター おかもと	(岡本福祉作業ホーム内) soudan-okamoto@izumikai.jp	グループホーム のぞみ	〒197-0804 あきる野市秋川2-3-1 ☎042(533)3608 ☎042(533)3609
玉堤分場	〒158-0087 世田谷区玉堤2丁目3番1号 ☎03(5707)9431(代) ☎03(5707)9433 tamatutumi@izumikai.jp		

編集後記

いつも温かいご支援をありがとうございます。ユーモアや繊細な配慮を大切にするとともに過ごした1コマ1コマを報告していければと思います。 玉堤分場 半澤